

平成 27 年 度

主 要 な 施 策 の 成 果 説 明 書

中 央 区



地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定  
に基づき、平成27年度における主要な施策の成果説明書を  
提出します。

平成28年9月16日

中央区長 矢田 美英



## 主要な施策の成果について

本区の人口は平成10年以来増加を続けており、平成27年4月には、51年ぶりに14万人を突破しました。平成27年の一年間では、4,907人の増、特に30歳代から40歳代の子育て世代が人口構成の中心となり、出生数は10年連続で1,000人を超え、平成27年は1,981人と2,000人に迫る勢いとなりました。

こうした急激な人口の増加や人口構成の変化に対処しつつ、まちのにぎわいを高め、新たな魅力を生み出していくためには、子育て支援や高齢者施策の強化はもとより、未来を担う子どもの学びを支える教育施策の一層の充実、本区の活力の源である商工業の活性化や観光事業の促進、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組を加速させていく必要があります。そして、活発な都市活動を支えていくために、都心の特性を踏まえた防災対策の強化なども欠かせません。

こうした状況を踏まえ、「基本計画2013」の3年目にあたる平成27年度は「オリンピック・パラリンピックで中央区の黄金時代を！！」をテーマに、東京2020大会やさらにその先を見据えた将来的なまちづくりを目指し、オリンピック・パラリンピック教育の推進、学校の増改築、都心からにぎわい創出を図るための商店街活性化や都市観光の推進などに重点的に取り組みました。また、各種施策の充実・強化を図り、首都直下地震等に備えた高層住宅の防災対策や建築物の耐震化の促進、待機児童解消に向けた保育施設の整備や高齢者安心ネットの拡充、「70歳就労社会」実現に向けた各種事業の展開、理数教育への関心・意欲の醸成や国際化を見据えた教育体制の充実など、すべての方が快適に住み続けられるまちの実現に向けた取組を実施しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

## 平成27年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁
1 思いやりのある 安心できるま ちをめざして	○ 生涯をいきい きと暮らすた めに	* 保健医療	(1) 母子健康診査		202,233	6
			(2) 母子保健指導		24,247	6
			(3) がん検診		489,862	7
			(4) 歯科健康診査		96,391	7
			(5) 特定保健指導における歩数計の無料配布	新規	232	7
			(6) 自殺総合対策推進事業		1,564	8
			(7) 予防接種		10,145	8
		* 障害者福祉	(1) 障害児放課後等デイサービスの定員拡大		36,408	9
			(2) 障害者就労支援モザイク平板の設置		3,564	9
			(3) 手話通訳者の養成		4,034	10
			(4) 障害者基幹相談支援センター事業		37,446	10
			(5) 子ども発達相談支援体制の構築		23,579	11
			(6) 障害者ヘルプカードの普及啓発等		1,093	12
			(7) 中等度難聴児発達支援		116	12
			(8) 難病患者福祉手当		124,884	12
		* 高齢者福祉	(1) 高年齢者合同就職面接会		194	12
			(2) 高齢者健康づくり事業		32,236	13
			(3) 敬老大会		73,247	14
			(4) 地域見守り事業支援		1,272	14
			(5) 認知症施策の推進	新規	14,113	14
			(6) 高齢者の孤立防止・生きがい推進懇談会	新規	4,486	14
	(7) 高齢者食事サービス			20,876	15	
	(8) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」の定員拡大			—	15	
	(9) 在宅療養支援			19,437	15	
	(10) ミドルステイ・緊急ショートステイ			16,631	16	
	(11) 巡回型ホームヘルプサービス			74,379	16	
	(12) 高齢者生活援助サービス			18,201	17	
	(13) 元気高齢者人材バンク			1,245	17	
	○ 健やかな子どもを育むために	* 子育て支援	(1) 保育定員の拡大等		548,169	18
			(2) 子どもの居場所「ブレディ」		322,396	19
			(3) 多子世帯に対する保育所・幼稚園保育料の負担軽減		—	19
			(4) 認証保育所保育料の補助		176,811	19
			(5) 子ども医療費助成		614,337	20
			(6) 児童館の日曜開館・利用時間拡大等		593,098	20
			(7) 保育支援者雇用に対する補助	新規	2,758	20
			(8) 保育士等キャリアアップ事業	新規	122,834	21
			(9) アレルギー児対応等補助	新規	35,690	21
			○ 思いやりとふれあいのあるまちのために	* 男女共同参画	(1) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定	
	(2) 事業協力スタッフ養成講座	新規			839	22

## 平成27年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁
2 うるおいのある 安全で快適な まちをめざして	○ 住みやすい 環境づくり	* 住宅・住環境	(1) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導		34,647	23
			* 公園・緑地・水 辺	(1) 民間施設の緑化促進		10,231
		(2) 水の都プロジェクトの推進			133,801	24
		(3) 街路樹の整備			16,200	24
		(4) 公園・児童遊園の改修			276,713	25
		(5) 築地川亀井橋公園のバリアフリー化			20,412	26
	(6) 地域による公園自主管理活動支援事業	新規	823	26		
	○ 地球にやさし い環境づくり	* 環境保全	(1) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器 等導入費助成		25,119	27
			(2) 照明灯のLED化		115,559	27
			(3) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ 整備		3,613	27
			(4) 地域クリーンパトロールの展開		37,662	27
			(5) 大気環境測定値のホームページへの公開	新規	65	28
		* 循環型社会	(1) リサイクル事業の普及・啓発		2,508	28
			(2) 土のリサイクル		2,746	28
			(3) 資源持ち去り防止対策		5,683	28
			(4) 資源再利用(リサイクル)の推進		504,684	29
			(5) 一般廃棄物処理基本計画の改定	新規	4,417	29
	○ 都心にふさわ しい都市の基 盤づくり	* 道路・交通	(1) 橋りょう長寿命化修繕工事		104,051	30
			(2) 橋りょうの健全度調査		41,055	30
			(3) 新島橋の架替		345,308	30
			(4) 環境にやさしい道路の整備		113,014	31
			(5) 駐輪場の有料化および一時利用の実施	新規	126,910	31
			(6) コミュニティサイクルの導入	新規	35,106	31
			(7) 電線共同溝の整備		221,670	32
			(8) 人にやさしい歩行環境の整備		89,443	33
			(9) 歩行者専用橋の整備		698,905	33
			(10) 地下鉄計画検討調査		24,300	34
		* 防災・危機管理	(1) 防災拠点運営委員会への支援		12,402	34
			(2) 防災拠点運営委員会訓練		10,219	34
			(3) 地域防災計画の修正	新規	7,129	35
			(4) 防災対策優良マンション認定制度		6,701	35
			(5) マンション向け防災体験プログラム	新規	399	35
			(6) 防災区民組織に対する資器材供与の充実		15,143	36
			(7) 帰宅困難者対策の推進		525	36
			(8) 帰宅困難者支援施設運営協議会への支援		4,905	36
			(9) 帰宅困難者対策条例に基づく備蓄品の整 備		15,758	37
			(10) 住宅・建築物の耐震化助成		771,083	37
	* 地域整備	(11) 防犯設備設置費助成		22,975	38	
		(1) 名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去お よび日本橋再生に向けたまちづくり		7,993	38	
		(2) まちづくり支援事業(コミュニティ・ファンド)		651,491	38	
		(3) 築地場外市場地区先行営業施設の整備		2,654,710	39	
		(4) 晴海地区将来ビジョン推進会議の運営		3,000	39	
		(5) 都市再生土地区画整理事業助成		125,584	39	
	(6) 市街地再開発事業助成		7,995,666	40		

## 平成27年度 主要な施策一覧

事 業		新規	決算額 (千円)	頁		
3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして	○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり	* 商店街振興	(1) 観光商業まつり	44,738	41	
			(2) 商店街支援事業補助	134,111	41	
			(3) 商店街振興プランの策定	11,004	42	
			(4) 商店街美化促進事業補助	16,019	42	
			(5) 共通買物券の発行	581,458	42	
			(6) プレミアム付商品券事業補助	64,503	43	
		* 産業振興	(1) 中小企業振興補助	6,017	43	
			(2) 日本橋問屋街活性化事業支援	2,273	43	
			(3) 商工業融資	2,086,210	44	
			(4) 若年者合同就職面接会	253	45	
			(5) 職業相談・就職ミニ面接会	527	45	
		* 観光	(1) 東京湾大華火祭	272,202	45	
			(2) 「お江戸満喫まち歩き」舟運ツアーの実施	—	46	
			(3) まち歩き観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」	2,341	46	
			(4) 観光情報発信ツールのリニューアル	新規	11,582	46
			(5) 観光拠点(観光情報センター)の整備	59,923	46	
		○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり	* 学校教育	(1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着	6,632	47
				(2) 小学校の学力向上対策	62,456	47
	(3) 中学校の学力向上対策			71,962	47	
	(4) 英語教育の推進			73,519	48	
	(5) 健康教育の推進			59,241	48	
	(6) 国際教育・理数教育の推進			12,119	49	
	(7) 特別支援教育への対応			130,998	49	
	(8) 心を育てる教育の推進			13,884	50	
	(9) オリンピック・パラリンピック教育の推進			新規	4,333	51
	(10) 教育相談等			57,313	51	
	(11) 小学校・幼稚園の改築・増築			7,024,184	51	
	(12) スクールバスの運行			38,048	52	
	(13) 学校評価システムの推進			2,116	52	
	(14) 小学校通学路防犯カメラの設置			新規	8,639	53
	(15) 校庭(遊び場)開放の実施			4,591	53	
	(16) 学校におけるいじめ問題に対する体制の整備			新規	199	53
	* 生涯学習・スポーツ		(1) 外国語によるおもてなしの取組強化(中央区民カレッジ)	—	54	
			(2) スポーツ推進計画の策定	新規	6,458	54
		(3) 子どもの得意スポーツ発見事業	新規	1,650	54	
		(4) 晴海運動場の代替施設の確保	新規	12,947	55	
	○ 文化の香る交流のまちづくり	* コミュニティ	(1) 大江戸まつり盆おどり大会	42,121	56	
			(2) 協働提案事業	4,628	56	
			(3) 区民還暦祝い事業	10,479	57	
	* 文化振興	(1) 中央区まるごとミュージアム	33,509	57		
		(2) まちかど展示館	11,287	58		
		(3) 近代建築物調査結果の活用	新規	1,966	58	
* 平和	(1) 平和の都市(まち)の楽しい集い	9,373	58			
	(2) 平和展	2,439	59			



## 平成27年度 主要な施策一覧

事 業		新規	決算額 (千円)	頁	
4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進	○ 新たな課題への対応	(1) 新たな基本構想の策定	新規 6,194	60	
		(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民参加の推進	399	60	
		(3) 社会保障・税番号制度の導入・運用	新規 91,513	61	
		(4) 生活困窮者自立相談支援事業	新規 12,342	61	
	○ 区施設の改修	(1) 本庁舎		41,931	62
		(2) 京橋区民館・フレンドハウス京橋		14,558	62
		(3) 新場橋区民館・新場橋職員住宅		16,465	62
		(4) セレモニーホール		27,378	62
		(5) 日本橋社会教育会館・日本橋図書館		738,729	62
		(6) 総合スポーツセンター		88,675	62
		(7) 障害者就労促進施設「さわやかワーク中央」		18,818	62
		(8) 特別養護老人ホーム等「マイホーム新川」		13,716	62

計 139事業(うち新規25事業)

# 1 思いやりのある安心できるまちをめざして

## ○ 生涯をいきいきと暮らすために

### \* 保健医療

#### (1) 母子健康診査

[決算額 202,233千円]

乳幼児の成長、発達の状態を判断し、健全な育成が図られるよう指導するため、健康診査を実施した。平成27年度は対象児の増加に伴い、1歳6カ月児の健康診査の回数を増やした。

	変更前	変更後
3～4カ月児健康診査	48回	48回
1歳6カ月児健康診査（内科を除く）	24回	30回
3歳児健康診査	36回	36回

※6～7カ月児、9～10カ月児、1歳6カ月児健康診査（内科）は医療機関に委託して実施

#### (2) 母子保健指導

[決算額 24,247千円]

##### ア 新生児等訪問指導

乳幼児家庭の孤立化を防ぎ、母子の状況把握や助言などを行うため、保健師などによる新生児等訪問指導や、健診などで状況が把握できない1歳6カ月児と3歳児がいる子育て家庭の調査と訪問指導を行った。

また、訪問を通じて支援が必要な母子を把握した場合は、子ども家庭支援センターに相談・通告を行うなど必要なサポートにつなげた。

新生児状況把握数	1,954人
1歳6カ月児の状況把握数	1,653人
3歳児の状況把握数	1,440人

##### イ パパママ教室（両親学級）

参加者の増加に対応するため、パパママ教室（両親学級）の開催回数を19回から21回に増やした。

参加者数	1,049人
------	--------

(3) **がん検診** [決算額 489,862千円]

がんの早期発見・早期治療を目的として、各種がん検診を実施した。平成27年度は、受診率向上のため乳がん・子宮がん・胃がんの検診未受診者への再勧奨を行ったほか、胃がん検診の精密検査の受診勧奨とアンケートを行い、精密検査の受診率向上とがん検診の精度管理向上を図った。

また、乳がん・子宮がんについては国の「がん検診推進事業」も引き続き実施した。

受診者数	胃がん検診	10,968人
	大腸がん検診	16,342人
	乳がん検診	6,075人（区 5,727人 国 348人）
	子宮がん検診	8,196人（区 8,171人 国 25人）
	肺疾患（肺がん等）検診	17,547人
	前立腺がん検診	4,843人

(4) **歯科健康診査** [決算額 96,391千円]

歯周疾患の早期発見と予防のため若年層（20歳・25歳）、30歳から70歳までの偶数歳を対象とした成人歯科健康診査を実施した。

また、介護予防、窒息や誤えん性肺炎の予防を図るために高齢者歯科健康診査を実施した。

なお、平成26年度までは72歳以上の偶数歳の区民を対象にしていたが、平成27年度から75歳以上の全ての区民を対象に拡大して実施した。

受診者数	成人歯科健康診査（20歳・25歳、30～70歳の偶数歳）	5,622人
	高齢者歯科健康診査（72歳、74歳以上）	2,936人

(5) **特定保健指導における歩数計の無料配布** [決算額 232千円]

40歳から75歳の国民健康保険加入者を対象に特定健康診査を実施し、生活習慣の改善が必要な方に対して、特定保健指導（生活習慣改善のためのプログラム）を行い、生活習慣病の予防を図った。この特定保健指導受診者のうち希望者に歩数計を無料配布し、運動習慣が継続するよう支援を行った。

歩数計配布	30件
-------	-----

(6) 自殺総合対策推進事業

[決算額 1,564千円]

ア 健康福祉まつり・健康増進フェア

こころの健康づくり（うつ病・自殺予防）のコーナーを設置し、ストレス解消方法や、うつおよび自殺に対する正しい知識を周知した。

イ 東京都自殺対策強化月間（9月・3月）

懸垂幕等の掲出（中央区保健所）、パネル展示（区施設4カ所）、街頭キャンペーン、ポスター掲示（区施設）を行い、自殺に対する正しい理解の推進と、要因となるこころの悩み・多重債務・労働問題などの各種相談窓口を周知した。

ウ ゲートキーパー養成講座

悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげ、見守る人を養成するゲートキーパー養成講座を実施した。

開催数 2回

参加者数 144人

エ 中央区自殺対策協議会

区における自殺対策の推進、自殺対策に関わる関係機関などの連携に関する事項などを協議・検討するため、区、医療機関、関係機関などで構成する「中央区自殺対策協議会」を開催した。

開催数 2回（7月、2月）

(7) 予防接種

[決算額 10,145千円]

「おたふくかぜワクチン」の接種費用について、助成回数を増やして実施した。

助成対象者

1回目接種 生後12カ月～小学校に就学する前年度の児童

2回目接種 小学校に就学する前年度の児童

助成回数および助成額 接種2回 各4,000円

助成者数 延2,484人

**\* 障害者福祉**

**(1) 障害児放課後等デイサービスの定員拡大** **[決算額 36,408千円]**

障害のある児童の放課後や夏休みなどにおける居場所の確保を図るため、児童福祉法に基づく放課後等デイサービスを実施した。平成27年度は定員を10人から15人へ拡大した。

対象者	区内在住の小学生から高校生までの障害児	
利用定員	1日15人	
場 所	福祉センター2階 部屋2室	
利 用 料	無料（昼食代などについては実費を徴収）	
実 施 日	月曜日から土曜日（祝日、年末年始を除く。）	
利用時間	学校休業日	
	夏休み等長期休業日	午前9時～午後6時
	開校記念日等休業日	午前9時～午後7時
	その他平日	放 課 後～午後7時
	土曜日	午前9時～午後6時
利用状況	登録者数	46人
	開設日数	294日
	利用者数	延2,781人

**(2) 障害者就労支援モザイク平板の設置** **[決算額 3,564千円]**

障害のある方が建設廃材を活用して制作したモザイク平板を、区施設の壁面などに設置することにより、障害のある方の自立を支援するとともに、うるおいのあるまちづくりを推進した。

設置場所	中洲公園
施工面積	約20㎡

(3) 手話通訳者の養成

[決算額 4,034千円]

聴覚障害のある方への理解を深めるとともに、手話通訳者としてボランティア活動に参加していただくことを目的として、平成26年度まで社会福祉協議会で実施していた通訳者養成講座10回を、平成27年度から福祉センターで通訳者育成応用コースとして新設し、20回に拡大して手話講習会を実施した。

手話講習会	回数	受講人数	延人数
初級	40回	21人	601人
中級	40回	18人	573人
通訳者育成基本コース（上級）	40回	15人	454人
通訳者育成応用コース	20回	9人	209人
合計	140回	63人	1,837人

※平成27年度 登録手話通訳者合格者1人

(4) 障害者基幹相談支援センター事業

[決算額 37,446千円]

障害の種別、年齢にかかわらず、障害に関するさまざまな相談に対応し、障害のある方とその家族に対する相談支援を実施した。平成27年度は相談支援事業所との連携強化と相談機能充実のため連絡会などを実施した。

相談支援

場 所	福祉センター2階
実 施 日	月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く。）
利 用 時 間	午前9時～午後6時
利 用 料	無料
相 談 件 数	521件

連絡会等

連 絡 会	4回
事 例 検 討 会	3回
研 修 会	4回

(5) 子ども発達相談支援体制の構築

[決算額 23,579千円]

ア 相談支援体制の強化

育ちに支援を必要とする子どもの相談支援体制を強化するため、福祉センターの臨床心理士を増員するとともに、保健・福祉に関する知識と経験を有するコーディネーターを配置し、関係機関との連携を図った。

こどもの発達相談・指導件数 5,727件

イ 保育園巡回相談・通所児訪問

心理相談員が保育所を巡回して、育ちに支援が必要な幼児の対応について保育士に助言するとともに、必要に応じて早期に適切な支援につなげた。

保育園巡回相談・通所児訪問

件数	区分	区立保育所 ・こども園	私立保育所 ・こども園	認証保育所	計
	保育園	園数	154	138	12
巡回相談	人数	329	263	25	617
通所児訪問	園数	51	15	0	66
	人数	185	17	0	202
合計	園数	205	153	12	370
	人数	514	280	25	819

※いずれも延数

ウ 保育所等訪問支援

平成27年9月から、児童福祉法に基づく保育所等訪問支援を開始し、保護者からの依頼を受けた場合に保育所などを訪問し、行動観察を行い職員への助言や支援を行った。

利用者数 3人

訪問回数 延6回

エ 「育ちのサポートカルテ」の作成

発達障害等育ちに支援を必要とする子どもに対して、乳幼児期から青年期までのライフステージを通じて一貫した支援ができるよう、支援情報の共有化を目的とする「育ちのサポートカルテ」の様式やマニュアルを作成した。今後、運用の開始に向け、関係機関との連携・調整をさらに強化する。

(6) 障害者ヘルプカードの普及啓発等 [決算額 1,093千円]

内部障害のある方や難病患者などの見た目からは障害者であると分かりにくい方が、周囲に対し支援や配慮が必要であることを周知するための手段として身に付ける「ヘルプマーク」およびその普及啓発用品を作成した。

また、ヘルプマークを活用し、障害のある方が必要な支援や身体の状態を記載し、具体的な手助けを求めるための「ヘルプカード」を作成しており、その周知・普及を図るため、ヘルプカードに関する事項を記載した冊子「障害者サポートマニュアル」を区内の小中学校に配布した。

作成物および作成数

ヘルプマーク	2,000個
普及啓発用ウェットティッシュ	11,600個
障害者サポートマニュアル	1,000部

(7) 中等度難聴児発達支援 [決算額 116千円]

身体障害者手帳の交付対象とならない中等度難聴児童に対し、補聴器購入費用の一部を助成することによりコミュニケーション能力などの向上を促進し、健全な発達を支援した。

助成者数 1人

助成件数 1件

(8) 難病患者福祉手当 [決算額 124,884千円]

国の難病対策改革により難病対策が法制化され、対象となっている疾病の細分化や追加が行われたことに伴い、区の難病患者福祉手当の対象疾病について、追加を行った。

対象疾病 135疾病→331疾病

\* 高齢者福祉

(1) 高年齢者合同就職面接会 [決算額 194千円]

おおむね55歳以上の高年齢者の就労機会を拡大するため、高年齢者と求人を希望する区内を中心とした企業との合同就職面接会を「中央区地域雇用問題連絡会議」（区・社会福祉法人中央区社会福祉協議会・公益社団法人中央区シルバー人材センターほか）主催により開催した。

開催日 平成28年2月24日

会場 区役所大会議室

参加企業 15社

来場者数 97人



(2) 高齢者健康づくり事業

[決算額 32,236千円]

高齢者がいつまでも健康であり続けるために、身体機能の維持向上など要介護状態にならないための介護予防に資する健康づくりを推進した。

ア はつらつ健康教室・さわやか健康教室

60歳以上の高齢者で生活機能に低下が認められる方を対象に「はつらつ健康教室」を、低下が認められない方を対象に「さわやか健康教室」を実施した。

はつらつ健康教室参加者数 延2,584人（計288回）

さわやか健康教室参加者数 延1,491人（計240回）

イ ゆうゆう講座

60歳以上の高齢者で、要支援・要介護認定を受けていない方を対象に、楽しみながら自然と健康づくりにつながる講座を実施した。

参加者数 延863人（計24回）

ウ 訪問健康づくり

通所が困難と思われる方を対象に保健師が居宅を訪問し、生活機能向上に必要な指導・助言を行った。

事業利用呼びかけ電話など 276回

訪問件数 77回

エ さわやか体操リーダーの育成

おおむね50歳以上の区民を対象として、高齢者向けの体操教室で指導などを行うさわやか体操リーダーを育成（初級編6日間・上級編40日間）するとともに、リーダーによる教室を拡大した。

リーダー登録者 21人

初級編受講者 12人（修了者10人）

上級編受講者 7人（修了者5人）

リーダーの体操教室参加者数 延1,804人（計168回）

オ 健康づくりの普及・啓発

高齢者が早期に健康づくりに取り組めるよう、介護予防に関する基礎知識とともに、区の健康づくり事業および区内の運動施設などの情報をまとめたガイドブックを平成27年7月に高齢者世帯へ全戸配布した。

刊行物名 「～健康寿命を延ばしましょう～ 今すぐ実践！お役立ちガイドブック」

発行部数 22,000部

(3) 敬老大会 [決算額 73,247千円]

「敬老の日」の記念行事の一つとして、70歳以上の高齢者を区内の劇場に招待した。

会 場 明治座  
参加者数 7,139人  
開催日数 6日

(4) 地域見守り事業支援 [決算額 1,272千円]

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などの方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、おとしより相談センターを中心とした地域見守りネットワークの拡大を図るため、あんしん協力員による声かけや見守り活動を行う地域団体への支援を行った。

見守り対象者数 408人  
見守り団体数 17団体  
あんしん協力員数 151人

(5) 認知症施策の推進 [決算額 14,113千円]

ア 認知症ケアパスの作成

在宅療養支援協議会において認知症ケアパス部会を設置し、認知症と疑われる症状が発生した場合に、本人や家族がいつ、どこで、どのような医療・介護のサービスを受ければよいか理解できるよう、状態に応じた適切なサービスの流れを示した認知症ケアパス作成のための協議を行った。

実施回数 3回

イ 認知症支援コーディネーター、認知症地域支援推進員の配置

認知症支援コーディネーター1人（介護保険課）および認知症地域支援推進員を3人（各おとしより相談センター）配置し、医療機関との連絡調整を図りながら認知症の早期発見・早期診断に向けた相談や戸別訪問を行った。

相談件数 1,802件（訪問件数 778件）

(6) 高齢者の孤立防止・生きがい推進懇談会 [決算額 4,486千円]

高齢者の孤立化・閉じこもりなどへの懸念が広がる中、高齢者が社会的に孤立せず、生きがいをもって生活できるよう、中央区高齢者孤立防止・生きがい推進懇談会を設置し、生活状況などの実態について、アンケート調査および分析を行うとともに、地域団体や関係機関の委員の方々と支援策などについて検討した。

懇談会 4回

(7) 高齢者食事サービス [決算額 20,876千円]

調理が困難な70歳以上（要支援・要介護認定を受けた方は65歳以上）のひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯・日中独居の高齢者に安否確認を兼ねて食事（昼・夕食）を配達した。

総配食数 89,595食（うちエネルギー調整食、たんぱく質調整食 2,947食）  
利用者数 470人

(8) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」の定員拡大 [決算額 ー 千円]

特別養護老人ホームマイホームはるみ等複合施設の大規模改修工事完了（平成27年3月）に伴い、平成27年4月から特別養護老人ホームおよびショートステイの定員を拡大した。

入所 80人→106人  
ショートステイ 8人→11人

(9) 在宅療養支援 [決算額 19,437千円]

ア 在宅療養支援病床の確保

要介護高齢者などが地域で安心して在宅療養を続けられるよう、病状の急変時に速やかな受入れが可能な病床を確保した。

病床数 3床（3カ所）  
入院期間 14日以内  
利用日数 延516日

イ 在宅療養支援協議会の運営

経管栄養などの医療的ケアを必要とする要介護者を在宅で介護する家族の負担を軽減するとともに、可能な限り在宅での生活を継続できるよう、学識経験者、医療関係団体、主任介護支援専門員などから構成される「中央区在宅療養支援協議会」において、支援のための体制づくりや方策を検討した。

実施回数 2回  
協議内容 在宅療養研修について など

ウ 在宅療養支援訪問看護

要介護者などが在宅で療養中の場合や、病院などを退院・退所または外泊する場合に、看護師などが居宅を訪問して療養上の相談や医療的ケアの指導などを行う訪問看護を行った。

派遣回数 延32回  
利用者数 19人

## エ 在宅療養研修

介護サービス事業所を対象に在宅療養支援に必要な知識や技術の習得・向上を図るための研修を、また区民を対象に在宅療養の意識啓発と情報提供を図るための研修を実施した。

事業所向け	1回
区民向け	2回

## (10) ミドルステイ・緊急ショートステイ [決算額 16,631千円]

ア 特別養護老人ホーム入所申込者の在宅介護を支援するため、連続して1～3カ月（年間上限3カ月）宿泊利用できるミドルステイを実施した。

利用施設	サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）
確保床数	2床
対象者	要介護4または5で区内特別養護老人ホームの入所申込者
利用者数	11人
利用日数	延529日

イ 介護者が急病や著しい心身の疲労などで介護にあたれない場合に、緊急に短期入所サービスを民間委託により実施することで、要介護者家族の在宅介護の支援を図った。

利用施設	サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）
確保床数	3床（うち1床は医療ニーズの高い方対応枠）
対象者	要介護または要支援の在宅療養者
利用者数	44人（うち3人は医療ニーズの高い方）
利用日数	延338日（うち26日は医療ニーズの高い方）

## (11) 巡回型ホームヘルプサービス [決算額 74,379千円]

### ア 24時間対応型

区が介護保険の訪問介護事業所として指定を受け、要介護者などのいる家庭に対して24時間巡回型ホームヘルプサービスを実施した。

利用者数	延372人（高齢者 308人、障害者 64人）
------	-------------------------

### イ ナイトサポート

区が介護保険の夜間対応型訪問介護事業所として指定を受け、要介護者のいる家庭を対象に夜間における定期巡回および緊急の要請に応じた相談・アドバイスを行うとともに、必要に応じて介護福祉士などを利用者宅へ派遣した。

利用者数	延913人
------	-------

(12) 高齢者生活援助サービス

[決算額 18,201千円]

要支援・要介護と認定された高齢者に対して、生活援助および院内介助のため、民間事業者ヘルパーを派遣した。

生活援助派遣世帯数	574世帯	(派遣回数 延6,215回)
院内介助派遣世帯数	254世帯	(派遣回数 延3,004回)

(13) 元気高齢者人材バンク

[決算額 1,245千円]

元気高齢者の社会参加活動を支援するため、ボランティア活動などのコーディネート、技能お披露目会やPR会の実施、ホームページによる情報発信などを行った。

登録者数	61人
活動日数	延103日
活動者数	延385人
技能お披露目会開催回数	5回
PR会開催回数	4回

○ 健やかな子どもを育むために

\* 子育て支援

(1) 保育定員の拡大等

[決算額 548,169千円]

保育所の待機児童の解消を図るため、私立認可保育所を開設する事業者に対して開設準備経費の一部の補助を行い、認可保育所5カ所の開設および9月開設予定1カ所を支援した。また、小規模保育事業所の認可を行った。

また、空いている保育室を活用し、臨時的に1歳児保育を行う期間限定保育事業を実施する事業者に対して運営費の一部を補助した。

平成27年9月1日開設の保育所 1カ所（定員90人拡大）

施設名	あい保育園水天宮
運営事業者	株式会社アイグラン
所在地	日本橋蛸殻町1丁目29番9号 ネオテック水天宮ビル1階・2階
定員	90人（0～5歳児）

平成28年4月1日開設の保育所 4カ所（定員260人拡大）

施設名	ブライト保育園東京入船	テンダーラビング保育園東日本橋
運営事業者	社会福祉法人済聖会	株式会社テンダーラビングケアサービス
所在地	入船3丁目5番10号 藤和入船ビル2階	東日本橋1丁目4番6号 東日本橋一丁目ビル1階・2階
定員	50人（1～5歳児）	70人（1～5歳児）
施設名	キッズハウス浜町公園	保育所まあむ月島駅前園
運営事業者	社会福祉法人信和会	株式会社WITH
所在地	日本橋浜町2丁目44番4号（本園） 日本橋浜町2丁目29番6号（分園）	佃2丁目10番9号（本園） 月島1丁目3番14号（分園）
定員	60人（0～5歳児）	80人（0～5歳児）

平成28年9月1日分園開設の保育所 1カ所（定員36人拡大）

施設名	ポピンズナーサリースクール晴海
運営事業者	株式会社ポピンズ
所在地	晴海2丁目3番2号サ・パークハウス 晴海タワース ティアロジテンス1階
定員	60人（1～5歳児）→86人（0～5歳児）

※認可保育所数および定員

平成27年4月1日 保育所数 36カ所、定員 3,308人

平成28年4月1日 （上記5カ所および定員変更後）

保育所数 41カ所、定員 3,659人（前年同日比351人増）

※期間限定型保育事業実施保育所

太陽の子新川保育園、あい保育園日本橋、モニカ人形町園、

コピープリスクールはこぎき、つきのみさきさくらさくほいくえん

(2) **子どもの居場所「プレディ」** [決算額 322,396千円]

子どもの健全育成を図るため、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を運営した。

平成27年度は、開設時間を拡大するとともに、延長利用の一部について有料化を導入した。

ア 開設時間の拡大

月曜日から金曜日 放課後～午後6時 → 放課後～午後7時30分

土曜日 午前9時～午後6時 → 午前8時30分～午後6時

学校休業日（日曜日・祝日・年末年始を除く）

午前9時～午後6時 → 午前8時30分～午後7時30分

イ 延長利用の一部有料化

午後6時以降 1回400円（月上限5,000円）

ウ 開設校

中央小学校、明石小学校、京橋築地小学校、明正小学校、日本橋小学校、有馬小学校、久松小学校、佃島小学校、月島第一小学校、月島第二小学校、月島第三小学校、豊海小学校

エ 利用人数

延148,629人（午後5時まで 延124,310人、午後6時まで 延20,447人、午後6時以降 延3,872人）

(3) **多子世帯に対する保育所・幼稚園保育料の負担軽減** [決算額 — 千円]

ア 保育所

2人以上同時に保育所を利用している児童がいる場合、第2子以降については保育料を半額としていたものを、第2子の保育料は半額、第3子以降の保育料は無料とした。

イ 幼稚園

小学校3年生以下の児童が2人以上で、第2子以降の児童が幼稚園を利用している場合、第2子の保育料は半額とし、第3子以降の保育料は無料とした。

(4) **認証保育所保育料の補助** [決算額 176,811千円]

認証保育所に子どもを預けている保護者に対し、施設へ支払う保育料と認可保育園保育料との差額に応じて、10,000円から50,000円までの助成を行った。

助成件数 延5,711件

(5) 子ども医療費助成 [決算額 614,337千円]

乳幼児および小・中学生の医療費（通院・入院）を助成した。

ア 医療証発行状況（平成28年3月31日現在）

乳幼児医療証（対象：乳幼児） 10,556人

子ども医療証（対象：小・中学生） 8,031人

イ 助成件数

乳幼児医療 208,661件

子ども医療 116,734件

(6) 児童館の日曜開館・利用時間拡大等 [決算額 593,098千円]

児童の健全育成と子育て支援の充実を図るため、区内全児童館で日曜開館を実施するとともに、新たに指定管理者制度を導入した児童館の利用時間を拡大した。

また、学童クラブの利用対象を、小学校4年生までから小学校6年生までに拡大した。

※開館日等

	開館日	利用時間
築地児童館	通年【充実】	午後5時まで
新川児童館	通年	午後8時まで
堀留町児童館	通年【充実】	午後8時まで【充実】
浜町児童館	通年【充実】	午後5時まで
佃児童館	通年【充実】	午後8時まで【充実】
月島児童館	通年【充実】	午後5時まで
勝どき児童館	通年【充実】	午後8時まで【充実】
晴海児童館	通年	午後8時まで

※小学生以下の利用時間は午後5時まで（学童クラブを除く）

※休館日は、こどもの日を除く祝日、年末年始

(7) 保育支援者雇用に対する補助 [決算額 2,758千円]

保育士の就業継続および離職防止を図るため、私立認可保育所において保育支援者を雇用する事業者に対し補助を行った。

補助件数 4カ所



(8) 保育士等キャリアアップ事業 [決算額 122,834千円]

保育士などが保育の専門性を高めながら、やりがいを持って長く働くことができるよう、保育士等のキャリアアップ（賃金改善）に向けた取組を行っている事業者に対し補助を行った。

補助対象施設数 36カ所

(9) アレルギー児対応等補助 [決算額 35,690千円]

アレルギー児対応や育児困難家庭への支援など、多様なニーズに対応した取組を行っている事業者に対し補助を行った。

補助対象施設数	アレルギー児対応	33カ所
	育児困難家庭への支援	1カ所

○ 思いやりとふれあいのあるまちのために

\* 男女共同参画

(1) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定 [決算額 2,625千円]

ワーク・ライフ・バランスを推進する中小企業等を認定し、その取組を広く紹介するとともに、アドバイザーの派遣、セミナーの開催により一層の普及促進を図った。

新規認定企業4社、更新認定企業5社（更新は2年毎）、区の認定企業23社

アドバイザー派遣3社

セミナー開催 平成27年7月10日（参加者81人） 9月15日（参加者83人）

(2) 事業協カスタッフ養成講座 [決算額 839千円]

女性センター「ブーケ21」で開催する講座・講演会の企画・運営を通じて、男女共同参画社会の実現に向け活躍するボランティアスタッフを養成するため事業協カスタッフ養成講座を実施した。

修了者 13人

## 2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして

### ○ 住みやすい環境づくり

#### \* 住宅・住環境

##### (1) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導 [決算額 34,647千円]

高齢者の居住安定の確保を図るため、民間事業者による高齢者向け優良賃貸住宅の整備や家賃の減額に要する費用の一部を助成し、質の高い良好な高齢者向け住宅の供給を促進した。

供給計画策定費助成 1棟 34戸 1,992千円

(サービス付き高齢者向け住宅 平成29年3月入居開始予定)

家賃減額助成 4棟 72戸 32,655千円

(既存3棟43戸、新築1棟29戸)

#### \* 公園・緑地・水辺

##### (1) 民間施設の緑化促進 [決算額 10,231千円]

緑豊かな都市景観の創出やヒートアイランド現象の緩和などを目的として、接道部、地上部および建物の屋上などを一定の割合で緑化するよう指導するとともに、緑化に要する経費の一部を助成した。

また、「花と苗木の即売会」を開催し、緑化相談や屋上・ベランダ等緑化の見本展示などを通じ、緑化の普及・啓発を図った。

##### ア 民間施設の緑化助成

緑化助成 12件 10,117千円

樹木等保護育成助成 2件 50千円

##### イ 花と苗木の即売会

開催4回

(春：あかつき公園、月島第一児童公園 秋：浜町公園、月島第一児童公園)

(2) 水の都プロジェクトの推進

[決算額 133,801千円]

貴重な水辺を区民の憩いの場として活用するため、利便性・安全性に配慮したうらおいのある水辺空間の整備および整備に向けた設計を行った。

ア 亀島川緑道の整備

整備箇所 高橋～南高橋（湊側）

整備内容 階段・スロープ設置工 1式、デッキ設置工 1式、LED照明 21基、  
係船施設工 1式、ベンチ 12基、舗装工 1式 ほか

高木植栽 カワヅザクラ・シデコブシ 5本

中低木植栽 トキワマンサク・シモツケほか 712株

地被植栽 オオイタビ・テイカカズラほか 1,926株

完 成 平成28年3月

イ 月島川緑の散歩道の改修

設計箇所 隅田川～朝潮運河

委託内容 詳細設計

完 了 平成28年3月

ウ 朝潮運河護岸上部修景

設計箇所 朝潮大橋～朝潮橋（月島側）

委託内容 詳細設計

完 了 平成28年3月

(3) 街路樹の整備

[決算額 16,200千円]

道路整備などにあわせて、地域の意向を踏まえた街路樹の新規植栽を行うなど、緑の拡充を図った。

ア 人にやさしい歩行環境の整備（新規植栽）

整備箇所 中央区銀座3丁目13番先～14番先

高木植栽 ハナミズキ 13本

イ 人にやさしい歩行環境の整備（移植）

整備箇所 中央区築地1丁目12番先

高木植栽 トウカエデ 4本

ウ 道路の改修工事（新規植栽）

整備箇所 中央区日本橋本石町4丁目6番先～日本橋室町4丁目3番先

高木植栽 オカメザクラ 23本

(4) 公園・児童遊園の改修

[決算額 276,713千円]

区民のレクリエーションや憩いの場などの充実を図るため、公園・児童遊園の設計・改修を行った。

ア 越前堀児童公園、左衛門橋南東児童遊園および佃公園の設計

設計箇所 中央区新川1丁目12番1号 ほか2カ所

設計内容 基本設計・実施設計

完了 平成28年3月

イ 豊海運動公園の改修

整備箇所 中央区豊海町3番19号

施工面積 3,045㎡

整備内容 実施設計 1式

盛土工 1式、防潮堤整備工 1式、テニスコート擁壁工 1式ほか

完成予定 平成28年9月

ウ 数寄屋橋公園（銀座四丁目側）の改修

整備箇所 中央区銀座4丁目1番2号

施工面積 956㎡

整備内容 LED照明 7基、テーブル 4基、石積みベンチ 6基、

スツール 12基、園路舗装工 1式ほか

中低木植栽 ナンテン・モニワザクラほか 15株

地被植栽 コグマザサ・フッキソウほか 5,141株

完成 平成28年3月

エ 湊町第一児童遊園の改修

整備箇所 中央区湊2丁目16番16号

施工面積 156㎡

整備内容 LED照明 1基、ベンチ 1基、スツール 4基、

複合遊具 1基、スイング遊具 1基、樹脂系舗装工 1式ほか

中低木植栽 シモクレン・ムクゲほか 43株

完成 平成28年3月

オ あやめ第二公園等照明改修

整備箇所 中央区日本橋中洲13番1号 ほか1カ所

整備内容 あやめ第二公園 LED照明 6基

新川公園 LED照明 12基

完成 平成27年10月

(5) 築地川亀井橋公園のバリアフリー化 [決算額 20,412千円]

すべての人が施設を円滑に利用できるようにするため、出入口スロープの改修工事を行った。

整備箇所	中央区築地1丁目6番1号先
整備内容	スロープ設置工 1式、舗装工 1式 ほか
完 成	平成28年3月

(6) 地域による公園自主管理活動支援事業 [決算額 823千円]

公園への愛着心を育むとともに地域コミュニティの推進を図るため、公園の清掃や芝生の管理、利用者へのマナー指導など、町会・自治会等地域団体による公園の自主管理活動に対する支援を行った。

活動助成団体数	2団体
自主管理公園	箱崎公園、黎明橋公園

## ○ 地球にやさしい環境づくり

### \* 環境保全

#### (1) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導入費助成 [決算額 25,119千円]

地球温暖化対策として、自然エネルギー・省エネルギー機器などの普及を促進するため、区内の住宅および事業所の機器導入に対して費用の助成を行った。

##### 助成実績

住宅用	太陽光発電システム	2件
	燃料電池給湯器（エネファーム）	6件
	高反射率塗料等	7件
共同住宅共用部用	LEDランプ	28件
事業所用	太陽光発電システム	1件
	エアコンディショナー	46件
	LEDランプ	32件
	高反射率塗料等	5件
	その他省エネルギー機器	1件

#### (2) 照明灯のLED化 [決算額 115,559千円]

地球温暖化対策の一環として、環境に配慮したLEDランプを公園灯および街路灯に導入した。

公園灯整備	78基
街路灯整備	540基

#### (3) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備 [決算額 3,613千円]

「中央区の森」の間伐材を使用したベンチを製作し、公園に設置した。

整備数 10基（堀留児童公園、佃公園）

#### (4) 地域クリーンパトロールの展開 [決算額 37,662千円]

歩きたばこやポイ捨てを防止するため、主要交差点や駅周辺を中心とした区内全域において巡回指導を行った。また、歩きたばこが多い交差点を中心に、町会や事業所などと連携して街頭キャンペーンを実施した。

巡回指導実施日	毎日（年末年始を除く。）	午前7時～午後7時
巡回体制	2人1班の7班体制	
街頭キャンペーン	11回実施（入船橋交差点ほか10カ所）	

(5) 大気環境測定値のホームページへの公開 [決算額 65千円]

区役所本庁舎別館環境測定室において常時監視を行っている6大気質（二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、一酸化窒素、二酸化窒素、光化学オキシダント）および気象項目（風向、風速、温度、湿度）について、測定値（速報値）をホームページでリアルタイムに公開した。

\* 循環型社会

(1) リサイクル事業の普及・啓発 [決算額 2,508千円]

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進をはじめ、環境問題全般について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ「エコまつり」を開催した（フリーマーケットと同時開催）。エコまつりでは、区内の小・中学校などから排出された生ごみの堆肥により栽培した野菜（キャベツ）などの販売を行った。

なお、フリーマーケットについては、区内の公園で2回開催した。

ア エコまつり

実施日 平成27年5月31日

会場 あかつき公園

来場者数 約2,700人

実施内容 リサイクル自転車の販売、「中央区の森」の間伐材を活用したワークショップなど全22ブース

イ フリーマーケット

会場 あかつき公園（エコまつりと同時開催、63店舗出店）

浜町公園（平成27年11月7日開催、64店舗出店）

(2) 土のリサイクル [決算額 2,746千円]

家庭で不用になった園芸用土の拠点回収を全小学校および銀座中学校・日本橋中学校で実施するとともに、回収した土を再生処理し、花と苗木の即売会などで無償配布した。

回収実績 17,480kg

配布実績 9,735kg

(3) 資源持ち去り防止対策 [決算額 5,683千円]

ア 資源持ち去り防止パトロールの実施

区民が安心して資源物を排出できる環境を確保するため、資源持ち去り防止パトロールを実施した。

パトロール実施日 月曜日～土曜日（年末年始を除く。）



イ G P S 端末器による古紙持ち去り追跡調査の実施

古紙の持ち去り行為撲滅に向けて、古紙直納問屋の組合、製紙メーカーの団体および資源回収事業者の組合と連携し、G P S 端末器による追跡調査を実施した。

ウ びん・缶コンテナへの警告文の表示

警告文を表示したびん・缶用コンテナを製作し、集積所へ配置した。

びん・缶用コンテナ製作数 1,200個

エ 新聞回収袋の配布

区へ排出したことを明示した新聞回収袋を区役所、中央清掃事務所、日本橋・月島特別出張所、京橋・日本橋・月島図書館で配布した。

新聞回収袋作成枚数 34,000枚

(4) 資源再利用（リサイクル）の推進

[決算額 504,684千円]

ア 集団回収の支援

地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する助成を行った。

登録団体数 252団体

回収実績 4,644,970kg

イ 拠点回収

公共施設において飲料用紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類、小型家電の回収を行ったほか、毎週土曜日に全小学校、銀座中学校および日本橋中学校で廃食用油、布類、飲料用紙パック、食品用発泡スチロールトレイ、蛍光管、乾電池、小型家電の回収を行った。

回収実績 79,955kg（うち小型家電 781.0kg）

ウ 集積所回収

集積所で紙類、びん、缶、スプレー缶、カセットコンロ用ガスボンベ、ペットボトル、金属製のなべ・やかん・フライパン、プラスチック製容器包装の回収を行った。

回収実績 6,873,365kg

(5) 一般廃棄物処理基本計画の改定

[決算額 4,417千円]

区民・事業者・区がそれぞれの役割を認識しながら、地域の特性にあったごみ減量を積極的に推進するため、平成28年3月に「中央区一般廃棄物処理基本計画2016」を策定した。

計画期間 平成28年度から平成37年度までの10年間

## ○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり

### \* 道路・交通

#### (1) 橋りょう長寿命化修繕工事 [決算額 104,051千円]

橋りょうの安全性の確保や長寿命化を図るため、「中央区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕工事および補修設計を行った。

##### ア 修繕工事

###### ・采女橋

所在地 中央区築地5丁目1番先～銀座5丁目15番先

実施内容 床版補修工、橋面防水工、舗装工

###### ・祝橋

所在地 中央区築地1丁目12番先～銀座3丁目15番先

実施内容 床版補修工、橋面防水工、舗装工

##### イ 補修設計

###### ・弾正橋、新富橋、新金橋

#### (2) 橋りょうの健全度調査 [決算額 41,055千円]

橋りょうの安全性確保を図るため、健全度調査を行った。

調査橋りょう 亀井橋、三吉橋、築地橋、豊海橋

調査内容 現地踏査、外観目視調査、打音調査、交通量調査

#### (3) 新島橋の架替 [決算額 345,308千円]

既設橋りょうの両側に仮設道路を設置し、既設橋りょうの上部を撤去した。

##### 新橋概要

所在地 中央区勝どき4丁目13番先～勝どき5丁目2番先

規模 橋長 48.3m、幅員 36.0m～41.0m

完成予定 平成32年3月

(4) 環境にやさしい道路の整備 [決算額 113,014千円]

道路交通による騒音の抑制や雨水の地中への浸透、ヒートアイランド現象の緩和などを図るため、環境にやさしい道路整備を行った。

ア 低騒音舗装

中央区八丁堀1丁目6番先～八丁堀2丁目23番先

整備延長 190m 車道舗装 3,675㎡

イ 遮熱性舗装

中央区八丁堀1丁目2番先～八丁堀2丁目6番先

整備延長 80m 車道舗装 1,230㎡

ウ 透水性舗装

- ・中央区日本橋箱崎町6番先～日本橋箱崎町8番先 ほか5路線

整備延長 340m 車道舗装 813㎡

- ・中央区京橋3丁目6番先

整備延長 125m 車道舗装 271㎡

エ 路面温度表示板設置・取替

中央区八丁堀1丁目2番先 ほか1カ所

(5) 駐輪場の有料化および一時利用の実施 [決算額 126,910千円]

駐輪場利用者に適切な受益者負担を求めるため、平成27年4月から区立駐輪場利用料の有料化を実施するとともに、放置自転車の撤去・保管手数料の徴収を開始した。

また、利用者の利便性の向上および放置自転車の抑制を図るため、平成28年1月から区立駐輪場の一時利用を開始した。

(6) コミュニティサイクルの導入 [決算額 35,106千円]

自動車使用の抑制による環境負荷の低減や放置自転車の削減、観光の活性化など、まちの魅力向上を図るため、コミュニティサイクルの導入に向けた実証実験を平成27年10月から開始した。

また、平成28年2月からは、千代田区、港区、江東区および東京都と連携し、さらなる利便性向上のため、区境を越えた広域的な相互利用の実現に向けた「広域実験」を開始した。

ア 対象地域

区内全域

イ 規模（区内）

サイクルポート 28カ所 自転車 200台

ウ 料金

対象	プラン	基本料（税抜）	延長料金（税抜）
個人向け	月額会員	2,000円／月	1回の利用が30分を超過した場合 30分毎：100円
	1回会員	150円／回	
	1日パス	1,500円／日	なし
法人向け	法人月額会員	2,000円／月	1回の利用が30分を超過した場合 30分毎：100円
	法人定額会員	4,000円／月	

エ 実績（平成27年10月1日から平成28年3月31日まで）

- ・ 会員登録数 2,660人  
（1回会員 2,464人、月額会員 146人、法人会員 14人、1日パス 36人）
- ・ 利用回数 21,440回  
（1回会員 8,867回、月額会員 11,602回、法人会員 915回、1日パス 56回）

(7) 電線共同溝の整備 [決算額 221,670千円]

災害に強い都市基盤の整備や安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上を図るため、電線共同溝の整備を行った。

ア 整備地区

- ・ 中央区日本橋本石町4丁目6番先～日本橋室町4丁目3番先  
実施内容 引込・連系管路工事  
整備延長 420m
- ・ 中央区築地6丁目16番先～築地7丁目18番先  
実施内容 引込・連系管路工事  
整備延長 320m
- ・ 中央区湊1丁目11番先～12番先  
実施内容 引込・連系管路工事  
整備延長 90m
- ・ 中央区勝どき2丁目1番先～3番先  
実施内容 引込・連系管路工事  
整備延長 420m
- ・ 中央区日本橋茅場町1丁目8番先～日本橋茅場町2丁目10番先  
実施内容 移設補償  
整備延長 400m
- ・ 中央区日本橋堀留町2丁目3番先～日本橋富沢町9番先  
実施内容 移設補償  
整備延長 400m

## イ 設 計

- ・中央区日本橋堀留町2丁目3番先～日本橋久松町13番先  
実施内容 詳細設計
- ・中央区日本橋本町2丁目6番先～日本橋堀留町1丁目9番先  
実施内容 予備設計
- ・中央区八丁堀1丁目10番先～日本橋茅場町3丁目4番先  
実施内容 予備設計
- ・中央区日本橋茅場町1丁目8番先～日本橋茅場町2丁目10番先  
実施内容 引込・連系管路設計

## (8) 人にやさしい歩行環境の整備 [決算額 89,443千円]

高齢者や障害者を含むすべての人が安全・安心・快適に利用できるように、歩道の拡幅やバリアフリー化（歩道の平坦化）のほか、街路照明や街路樹などの整備を行った。

### ア 中央区銀座3丁目13番先～14番先

整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 110m

街路照明整備（デザイン灯） 5基

高木植栽（ハナミズキ） 13本

### イ 中央区築地1丁目7番先～13番先

整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 110m

街路照明整備（デザイン灯） 9基

高木移植（トウカエデ） 4本

### ウ 中央区日本橋茅場町1丁目8番先～日本橋茅場町2丁目10番先

街路照明整備（デザイン灯） 7基

## (9) 歩行者専用橋の整備 [決算額 698,905千円]

朝潮運河歩行者専用橋の整備として、下部および上部を施工した。

### 新橋概要

所在地 中央区勝どき2丁目2番先～晴海1丁目8番先

規模 橋長 87.8m、幅員 4.5m～5.5m

完成 平成29年9月予定

(10) 地下鉄計画検討調査

[決算額 24,300千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の選手村の住宅転用や臨海副都心の開発に伴う交通需要の増大および交通弱者等の移動支援など、都市交通の課題解決に向け、都心部と臨海部を結ぶ地下鉄新線検討調査を平成26年度に引き続き実施した。

なお、平成28年4月20日に公表された国の交通政策審議会の答申において本区検討路線が「国際競争力の強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクト」に位置づけられた。

調査内容

- 将来を見据えた路線整備の意義・必要性の整理
- 銀座付近から国際展示場付近のルートの検討
- 本路線の延伸および鉄道ネットワークの拡張の検討
- 事業主体・整備制度の検討
- 本調査のまとめと今後の課題

\* 防災・危機管理

(1) 防災拠点運営委員会への支援

[決算額 12,402千円]

災害時の円滑な防災拠点の運営や平常時の防災対策を推進するため「防災拠点運営委員会」(21委員会)の活動を支援した。

運営支援

- 委員会開催 (21委員会) 延68回
- 防災拠点活動マニュアルの更新 (3拠点)  
阪本小学校、日本橋中学校、月島第二小学校
- 住民向け防災拠点からのお知らせ作成・配布 (21委員会)
- 防災拠点運営委員会連絡会議の開催 1回

(2) 防災拠点運営委員会訓練

[決算額 10,219千円]

地域の防災拠点運営委員会が自ら企画して実施する防災訓練を支援した。

- 実施場所 各防災拠点 (21委員会)
- 参加者数 延2,798人
- 主な訓練内容 避難所開設・運営訓練、初期消火・放水訓練、資器材操作訓練、搬送訓練、AED・応急救護訓練など

(3) 地域防災計画の修正 [決算額 7,129千円]

災害対策基本法の改正や東京都地域防災計画の修正等を踏まえるとともに、前回（平成25年2月）修正時以降の区の防災対策の進捗状況を反映するため、平成27年7月に中央区防災会議において中央区地域防災計画を修正した。

今回の修正では、避難行動要支援者名簿の作成、避難指示等の判断基準の明示、指定緊急避難場所および指定避難所の指定などを新たに追加するとともに、各防災拠点運営委員会による防災訓練の実施や災害時活動マニュアルの作成などの取組を地区防災計画として地域防災計画に位置づけた。

(4) 防災対策優良マンション認定制度 [決算額 6,701千円]

マンションにおける防災対策の一層の推進とコミュニティの醸成を図るため、一定の条件を満たすマンションを「中央区防災対策優良マンション」と認定し、防災資器材等の助成を行った。

ア 認定実績

認定マンション 47棟（平成28年3月末現在）

イ 助成実績

防災資器材の支給 20棟

支給した主な防災資器材

ガスボンベ式発電機

E V内防災用キャビネット

バルーン投光器

非常用階段避難車

レスキューキット

防災訓練経費助成金の交付 26棟

(5) マンション向け防災体験プログラム [決算額 399千円]

訓練の活性化と防災意識の向上を図るため、子育て世代が参加しやすい新たなマンション向け防災体験プログラム「イザ！カエルキャラバン！」の実施を支援した。また、訓練の企画・運営を居住者が主体となって行うことで、コミュニティの形成と防災組織立ち上げの契機とした。

実績棟数 1棟

参加者数 150人（居住者スタッフ30人、居住者40人、地域住民80人）

(6) 防災区民組織に対する資器材供与の充実 [決算額 15,143千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、地域防災力の向上を図るため、防災区民組織に対し、平成27年度から平成29年度にかけて重点的かつ計画的に防災資器材を供与している。

平成27年度は52組織に防災資器材等の供与を行った。

アルミ製折りたたみリヤカー

レスキューキット

バルーン投光器

消火用スタンドパイプ

発電機

防災資器材倉庫

(7) 帰宅困難者対策の推進 [決算額 525千円]

帰宅困難者を円滑に一時滞在施設に誘導するため、3地域別の「一時滞在施設マップ」を作成し、全ての防災拠点に配備した。

主な記載内容

一時滞在施設名称

情報の収集方法

災害時における避難行動フローチャート

作成部数 日本語版 18,000部

英語版 2,000部

(8) 帰宅困難者支援施設運営協議会への支援 [決算額 4,905千円]

帰宅困難者を受け入れるための運営マニュアルの作成や訓練の実施などにより「中央区帰宅困難者支援施設運営協議会」の活動を支援している。

平成27年度は、近隣協議会員間の連携による運営要員の確保や無線、SNSを活用した情報連絡訓練を実施し、協議会員の支援体制の強化と情報共有手段の確認を行った。

幹事会の開催 3回

分科会の開催 4回

訓練ワーキングの開催 2回

帰宅困難者の受入訓練の開催 1回

帰宅困難者支援施設運営協議会総会の開催 1回



(9) 帰宅困難者対策条例に基づく備蓄品の整備 [決算額 15,758千円]

東京都帰宅困難者対策条例の施行に伴い（平成25年4月1日施行）、本区では3カ年で備蓄品を整備することとし、平成27年度においても引き続き区の業務従事者をはじめ、学校、保育所など子育て施設の児童および施設来所者用として食料や飲料水、毛布、簡易トイレなどを備蓄した。

(10) 住宅・建築物の耐震化助成 [決算額 771,083千円]

昭和56年の建築基準法改正以前の建築物の耐震性を向上するため、住宅やマンションおよび業務商業建築物の耐震改修等に要する費用の一部または全額を助成した。また、災害時における物資輸送路等を確保するため、緊急輸送道路沿道等の建築物についても費用の一部または全額を助成した。

ア 民間建築物の耐震改修等に要する費用の助成

・木造建築物

住宅	耐震診断・補強計画	74件	16,932千円
	耐震補強工事	22件	67,592千円
	簡易補強工事	36件	49,784千円
業務商業建築	耐震診断・補強計画	4件	691千円

・木造以外の建築物

住宅	耐震診断	3件	1,500千円
賃貸マンション	耐震診断	2件	4,000千円
業務商業建築物	耐震診断	6件	3,000千円
分譲マンション	補強設計	2件	3,262千円

・緊急輸送道路沿道等の建築物（木造以外の建築物）

分譲マンション	耐震診断	2件	5,238千円
住宅	耐震補強工事	1件	3,309千円

・特定緊急輸送道路沿道の建築物

	耐震診断	14件	31,019千円
	補強設計	4件	2,347千円
	耐震補強工事	7件	222,895千円
	除却	7件	175,516千円
	建替え	4件	169,236千円

イ 木造建築物補強計画内容確認等業務委託

(11) 防犯設備設置費助成

[決算額 22,975千円]

防犯に関する相談を受け、派遣希望のあった町会・自治会などに区から防犯アドバイザーを派遣し、周辺環境の説明や防犯設備設置にかかるアドバイスをを行った。その後、アドバイスに基づき防犯設備を設置した場合に、町会・自治会にはその費用の2/3（上限額200万円）を、町会・自治会と協力して実施する商店会にはその費用の2/3（上限額600万円）を、マンション管理組合などにはその費用の1/2（上限額50万円）を助成した。

なお、東京都の助成制度を活用し、条件を満たした地域団体に対して費用の5/6（上限額単独実施500万円・連携実施750万円）を助成した。

助成件数 13件（うち東京都の助成制度活用 4件）

\* 地域整備

(1) 名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋再生に向けたまちづくり

[決算額 7,993千円]

日本橋川の再生に向け、川沿いの一体的なまちづくりを推進するため、日本橋川沿いで市街地再開発事業等の機会を通じたまちづくりを進めていく際の機能連携やネットワーク構築等の考え方を示すまちづくりビジョンについて、町会や地元まちづくり検討団体、地元権利者等との意見交換や検討に取り組み、平成27年9月に「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン」を策定した。また、川沿いにおいて5つの再開発事業等によるまちづくりが進められている状況を千載一遇の好機と捉え、首都高速道路移設撤去に向けた地元案の作成に着手した。

さらに、東京の国際競争力強化につながるまちづくりが一層求められている東京駅前地区については、バスターミナル機能の導入に向け、整備計画や路上待機バスのバスターミナルへの移行等について検討を行った。

日本橋再生推進協議会 開催回数 2回

(2) まちづくり支援事業（コミュニティ・ファンド）

[決算額 651,491千円]

中央区市街地開発事業指導要綱に基づく、大規模開発などの事業者の協力による開発協力を原資として、事業区域内の区民の居住継続や地域環境整備活動などの援助を行うことにより、地域の個性を生かしたまちづくりの実現を推進した。

支援事業および援助額

居住継続援助事業	476,483千円
営業継続援助事業	2,874千円
特定地域環境整備活動等援助事業（湊二丁目東地区）	172,134千円

(3) **築地場外市場地区先行営業施設の整備** [決算額 2,654,710千円]

平成28年11月に予定されている築地市場の豊洲新市場への移転後も食文化の拠点である「築地」の活気とにぎわいを継承し発展させるため、小田原橋臨時駐車場跡地等に生鮮食料品の店舗施設の整備を進めた（平成28年3月竣工）。

また、施設名称について募集を行い、名称を「築地魚河岸」に、開業日を平成28年10月15日に決定するとともに、内定した入居者と開業に向けた準備を進めた。

なお、内定辞退により生じた空き区画については、入居者の追加募集を実施し内定者を決定した。

(4) **晴海地区将来ビジョン推進会議の運営** [決算額 3,000千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の将来を見据え、区と区民が一体となり晴海地区将来ビジョン（平成26年12月策定）の実現に向けた取組を推進した。また、晴海地区将来ビジョン検討委員会を晴海地区将来ビジョン推進会議に改組するとともに、晴海地区まちづくり協議会の分会として位置づけ、継続的な意見交換や検討を行った。

晴海地区将来ビジョン推進会議 開催回数 7回

(5) **都市再生土地区画整理事業助成** [決算額 125,584千円]

道路などの公共施設の整備・改善を行い、土地の区画を整え宅地利用の増進を図り、合理的かつ健全な土地利用を促進することにより、防災性の向上、土地の有効高度利用などを推進するため、市街地再開発事業と一体的に土地区画整理事業を行う施行者に対し、事業費の一部を助成した。

助成地区

湊二丁目東地区

(6) 市街地再開発事業助成

[決算額 7,995,666千円]

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新および住宅・住環境の改善を図り、良好な定住型住宅の供給を促進するため、市街地再開発事業者に対し、事業費の一部を助成した。

また、社会経済状況の急激な悪化により、進捗が停滞している市街地再開発事業などについて、緊急的に上乗せ助成を行い事業の進捗を図った。

助成地区および助成額

ア 市街地再開発事業助成

月島一丁目3、4、5番地区	332,200千円
湊二丁目東地区	680,000千円
京橋二丁目西地区	1,305,900千円
勝どき五丁目地区	2,647,800千円
銀座六丁目10地区	1,184,400千円
勝どき東地区	127,200千円
日本橋二丁目地区	1,190,000千円

イ 市街地再開発事業助成（都市・地域再生緊急促進事業）

湊二丁目東地区	215,666千円
京橋二丁目西地区	100,000千円
銀座六丁目10地区	112,500千円
日本橋二丁目地区	100,000千円

### 3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして

#### ○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり

##### \* 商店街振興

#### (1) 観光商業まつり [決算額 44,738千円]

都心における代表的観光商業地区である本区の特性を生かし、区内全商業者が一体となって観光客の誘致を促進するとともに、商業意欲の高揚を図るための各種イベントを実施した。

実施期間 平成27年10月1日～11月4日

#### (2) 商店街支援事業補助 [決算額 134,111千円]

##### ア イベント事業

商店街が自らの宣伝などを目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助件数 39件

##### イ ビジョン実現事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、自ら作成した振興計画に基づき行う事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

G F r e e (銀座フリーWi-Fi) 整備事業 1商店街

##### ウ 地域協力事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、町会・自治会、特定非営利活動法人などと協力して実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

地域協力イベント事業 1件

(3) 商店街振興プランの策定 [決算額 11,004千円]

平成26年度に引き続き、統計分析、区民や来街者に対するアンケート調査等を実施したほか商店街関係者との意見交換等により商店街振興の方向性を検討し、「中央区商店街振興プラン2016」を策定した。

実施内容

統計資料分析	
区民アンケート調査	
消費者Webアンケート調査	
策定委員会の開催	3回
地区検討会の開催	延24回

(4) 商店街美化促進事業補助 [決算額 16,019千円]

個性と魅力を持つ活力ある地域商店街づくりを積極的に支援するため、商店街が自ら整備を行った歩道・街路灯等の維持・管理、無線LANや無線通信型スピーカーなどの通信費に対し経費の一部を補助した。

補助対象事業

施設運営費補助（街路灯電気料）	28商店街
施設運営費補助（通信費）	1商店街
歩道等補修補助	3商店街
街路灯清掃補助	8商店街

(5) 共通買物券の発行 [決算額 581,458千円]

区内の消費を一層刺激して地域経済の活性化を図るため、共通買物券を発行し、一冊1万1千円分（5百円券22枚つづり）を1万円で販売した。

販売日	平成27年6月21日
販売場所	区役所、日本橋区民センター、月島区民センター、勝どき区民館、 晴海区民館
発行総額	5億5千万円

(6) プレミアム付商品券事業補助

[決算額 64,503千円]

区内の消費拡大および商店街の活性化を図るため、中央区商店街連合会が実施するプレミアム付商品券の発行・販売などに係る経費を補助した。

販売単価	一冊1万2千円分（5百円券24枚つづり）を1万円で販売
発行総額	2億4千万円
発行冊数	20,000冊
販売冊数	19,523冊（販売率97.6%）

\* 産業振興

(1) 中小企業振興補助

[決算額 6,017千円]

区内中小企業の振興を図るため、ホームページの新規作成・変更に係る経費や、販路拡大のための展示会出展に係る経費の一部を補助した。

ア ホームページ作成費補助（限度額5万円）

交付件数	32件	1,523千円
------	-----	---------

イ 展示会等出展費補助（限度額15万円）

交付件数	31件	4,494千円
------	-----	---------

(2) 日本橋問屋街活性化事業支援

[決算額 2,273千円]

問屋街活性化委員会が行ってきた活性化事業の実績、成果などを踏まえ、日本橋問屋街の再生とさらなる活性化を図るため情報発信に関する事業、広報事業、文化服装学院との産学連携による人材育成などの活性化事業に対する支援を行った。

事業内容

- ア 中国語版問屋街ガイドブック改訂版配布
- イ 秘書サービス付き中国語版ホームページの運営
- ウ 「横山町問屋新聞」「問屋街案内マップ」の発行
- エ ホームページでの各種情報の更新、問屋街説明文の英語版および中国語版の掲載、ソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用
- オ 講演会の開催
- カ 文化服装学院との産学連携事業の実施  
公開講座（オープンカレッジ）  
学生の間屋街研修（現金問屋の概論講義、タウンウォッチ）

## (3) 商工業融資

[決算額 2,086,210千円]

区内中小企業の経営の安定と近代化、合理化を促進し、地域商工業のより一層の振興を図るため、次のとおり各種資金の融資あっせん、信用保証料補助および利子補給を実施した。

また、東京都制度融資（経営セーフ・災害緊急）を利用した小規模企業者に対して、信用保証料の一部を補助（限度額30万円）するとともに、商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する経営改善資金融資（マル経融資）の利子支払額の一部を補助した。

## ア 貸付件数および貸付額

制 度 名	件 数	金額（千円）
運転資金融資	203	2,369,000
設備資金融資	34	557,520
小規模企業資金融資	110	1,085,000
年末特別資金融資	6	16,200
小口資金融資	286	1,280,280
創造支援資金融資	55	365,120
店舗・工場等小規模再開発資金融資	0	0
災害復旧資金融資	0	0
経営改善支援資金融資	224	2,269,400
団体資金融資	0	0
小規模企業特例緊急運転資金融資	28	79,000
区融資一本化資金融資	11	116,250
計	957	8,137,770

## イ 信用保証料補助

区制度融資分 909件 159,131千円

都制度融資分（経営セーフ・災害緊急） 17件 4,494千円

ウ 利子補給 33,497件 607,271千円

エ 経営改善資金融資利子補助 629件 11,755千円



(4) 若年者合同就職面接会 [決算額 253千円]

若年者と求人を希望する企業との合同就職面接会を開催し、若年者の就労の機会を確保するとともに、中小企業の人材確保の場を提供した。

実施日 平成27年12月9日

面接者数 延258人

求人数 21人

参加企業 15社

採用者数 11人

(5) 職業相談・就職ミニ面接会 [決算額 527千円]

ハローワーク飯田橋との連携により、職業相談および就職ミニ面接会を開催し、区民などの就労支援と雇用の安定化を図った。また、毎月第2火曜日に臨床心理士による心理カウンセリングを実施した。

実施日 毎月第2・4火曜日

面接者数 延259人

参加企業 56社

職業相談件数 70件

インターネット求人検索利用者数 22人

採用者数 38人

心理カウンセリング参加者数 17人

\* 観光

(1) 東京湾大華火祭 [決算額 272,202千円]

区民にうるおいとやすらぎの場を提供することにより、ふるさと意識を高めるとともに、観光商業の発展に資するため、花火大会を実施した。

実施日 平成27年8月8日

打上場所 晴海埠頭沖海上および晴海ふ頭公園

観覧場所 晴海埠頭およびその周辺

観客数 約72万人

(2) 「お江戸満喫まち歩き」舟運ツアーの実施 [決算額 ー 千円]

中央区観光協会が、九州の旅行会社と連携し、まち歩きと舟運、宿泊を組み合わせたツアーを実施し、本区の魅力発信を行うとともに地方からの誘客を図った。

実施日 平成28年3月7日～8日

参加者数 18人

(3) まち歩き観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」 [決算額 2,341千円]

中央区観光協会が、スマートフォンやタブレット端末用の観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」の無料配信を行った。平成27年度は、古地図と関連したスポットを追加し内容の充実を図ったほか、PR用リーフレットを作成した。

対応OS iOS、Android

地図言語 日本語、英語

(4) 観光情報発信ツールのリニューアル [決算額 11,582千円]

中央区観光協会が、観光ガイドマップの内容を改めるとともに、ホームページのリニューアルを行い、国内外からの観光客の利便性向上を図った。

ア 「中央区観光ガイドマップ」

実施内容 地図の改定、掲載情報の充実、デザインの変更

多言語対応 日本語版、英語版、中国語版、ハングル版の作成

イ ホームページ

実施内容 デザインの一新、スマートフォンやタブレット端末への対応、閲覧数に基づいたコンテンツの整理など

(5) 観光拠点（観光情報センター）の整備 [決算額 59,923千円]

地下1階および1階の観光情報センターに係る運営計画を策定し、当該計画に基づき施設の実施設計を行った。また、上層階（3～6階）については、観光振興および新たなにぎわいの創出に寄与する施設とする整備方針を検討した。

所在地 京橋2丁目2番1号

開設予定 平成28年11月

## ○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

### \* 学校教育

#### (1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着 [決算額 6,632千円]

小学校第4・6学年と中学校第1・3学年において「学習力サポートテスト」とともに「意識調査」を実施し、その結果に基づいて個人票を作成・配布することで、児童・生徒の学習意欲と学力の向上を図った。

なお、小学校第5学年と中学校第2学年については、東京都が実施する学力調査結果を活用するとともに、新たに「意識調査」を実施した。

また、自主学習支援テキストなどを活用し、家庭での学習習慣の定着を図った。

調査実施日 平成27年4月30日

#### (2) 小学校の学力向上対策 [決算額 62,456千円]

基礎的学習の積み重ねが特に重視される算数について、非常勤講師を全校に配置して、習熟度別指導・個別指導を実施するとともに、より一層の理科授業の充実および活性化を図るため、実験や観察などにおいて教員の支援を行う理科支援員を配置した。

また、放課後や土曜日、夏季休業期間中など、各校の実情に応じた効率的な補習を行い、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図った。

##### ア 非常勤講師（算数）の配置

小学校16校 各1人配置（佃島小学校は大規模校のため2人）

##### イ 理科支援員の配置

小学校16校 第5・6学年の全学級（1学級当たり150時間）

#### (3) 中学校の学力向上対策 [決算額 71,962千円]

国語・数学・英語の3教科における習熟度別指導・個別指導などの充実を図るため、全校全学級で少人数授業を実施するとともに、各校の実情に応じて、少人数指導教科を拡大（理科・社会）した。

また、夏季休業期間中に教育センターを利用して、習熟度別のコース設定による補習講座や学期中の土曜補習講座を実施するなど、生徒の学力に応じたきめ細かな学習支援を行った。

##### ア 非常勤講師の配置

24人（国語・数学・英語・理科・社会 各校6人×4校）

イ 夏季補習講座

実施回数 5日間×2回

参加生徒数 203人（第1学年116人、第2学年25人、第3学年62人）

参加率 約15.7%（参加生徒数／在籍生徒数）

ウ 土曜補習講座

実施回数 I期（4月）2回、II期（9月）2回、III期（11・12月）3回

(4) 英語教育の推進

[決算額 73,519千円]

国際化が進展する中、小学校の英語活動および中学校の英語の指導について、幼少期から英語に親しむことで、英語学習への関心や意欲を持たせるため、全校にALT（外国人英語指導講師）を配置し、コミュニケーション能力の向上、中学校英語への効果的な接続、国際理解教育の視点に立った授業内容の展開を図った。

小学校 第1・2学年 年間11時間（月1時間）

第3～6学年 年間35時間（週1時間）

中学校 ALT配置日数 各校年間190日

(5) 健康教育の推進

[決算額 59,241千円]

ア 小学校の体育指導

全校に体育指導補助員を配置し、児童の関心・意欲や技能に合った実技指導の補助など体育指導を充実させるとともに、マイスクールスポーツ（1校1運動）の継続的な取組を行った。

イ 中学校の体育指導

安全で効果的な指導により生徒の体力向上を図るため、武道・ダンスなどの運動種目ごとの専門的な知識・技術や指導能力を有する種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図った。

ウ 小・中学校の食育指導

大学講師、プロの料理人など「食」の専門家による授業を実施した。

また、親子クッキングスクールでの学校給食の献立紹介や食育に関する啓発資料の展示などを通じて、バランスの良い食事、生活習慣などの普及啓発を図った。

エ 中学校の部活動指導

部活動を安定的に実施するため、専門的な知識・技術および指導能力を有する指導員を外部から募り、部活動の活性化を図った。

(6) 国際教育・理数教育の推進

[決算額 12,119千円]

ア パイロット校における国際教育

平成27年度は、パイロット校の常盤小学校において、英語授業の時数を拡大するとともに、ALT（外国人英語指導講師）の授業時数を増やすことで、実践的な英語が学べるように授業改善を図った。さらに英語が堪能な非常勤講師を新たに配置し、英語授業に関するコーディネーターや教員の研修を行った。また、タブレット端末を活用し、児童の興味・関心や習熟度に応じた個別学習、反復学習などを行った。

なお、平成27年12月18日に文部科学省から「教育課程特例校」の指定を受けた。

パイロット校の実践内容

- ・英語活動充実に向けた授業時間数の増加と外部人材と連携した組織的・計画的な英語学習の実施
- ・LCA国際小学校による実技研修、JVTA（日本映像翻訳アカデミー）などを活用した研修の実施 ほか

実施時間 小学校 第1・2学年 年間70時間（週2時間）

第3～6学年 年間105時間（週3時間）

イ パイロット校における理数教育

平成27年度は、パイロット校の城東小学校において、理数教育推進検討委員会の検討結果やパイロット校としての取組をもとに、新カリキュラムの検討・作成を行った。また、新たにタブレット端末を活用し、児童の興味・関心や習熟度に応じた個別学習、反復学習などを行った。

パイロット校の実践内容

- ・「理数の時間」（サイエンスタイム）の設定
- ・全学年で、早稲田大学や地域企業と連携した実験教室の実施 ほか

(7) 特別支援教育への対応

[決算額 130,998千円]

ア 特別支援教育専門員の配置

適切な就学相談を実施するとともに、就学後においても継続的にアプローチし、個々の障害に応じた教育的支援を行った。

特別支援教育専門員 3人 相談件数 80件

イ 特別支援教育アドバイザーの派遣

全学校・幼稚園に医師や臨床心理士などを派遣し、心身に障害のある児童・生徒・園児についての専門的な指導・助言などを、教員に対して行った。

派遣回数 小・中学校 各校年3回 宇佐美学園 年3回

幼稚園 各園年3回 特別支援学級・通級指導学級 各学級年3回

#### ウ 特別支援学級の運営

心身に障害のある児童・生徒に対し、特別支援学級を設け、特別支援教育補佐員を配置するなど、一人ひとりの能力に応じた適切な教育を行った。

平成27年度は、明正小学校に通級指導学級（難聴・言語障害）を開設した。

また「東京都特別支援教育推進計画」（第3次実施計画）に提示されている「特別支援教室」を、平成28年度から平成29年度にかけて全区立小学校に設置するための準備を行った。

#### エ 特別支援教育コーディネーター補佐員の試行配置

教員による特別支援教育コーディネーターを補佐する特別支援教育コーディネーター補佐員を配置し、スクールカウンセラー、学習指導補助員などとの連携づくりのコーディネートや、児童・生徒の能力・特性を伸長する手立ての検討の支援を行った。

#### オ 学習指導補助員の配置

通級指導学級に通う児童・生徒が、在籍校の通常学級で学習する場合や、教育的支援を必要とする児童・生徒が通常学級に在籍する場合において、きめ細かな支援と学習指導を円滑にすることを目的として、学習指導補助員を配置した。

#### カ 介助員の配置

重い障害のある児童・生徒が在籍する学級に対し、介助員を配置した。

### (8) 心を育てる教育の推進

[決算額 13,884千円]

深刻ないじめ問題などを未然に防止するため、命の尊さや友情の大切さといった心に訴える授業を全校で実施した。

また、不登校児童・生徒にさまざまな角度からアプローチするため、教育センターで実施する適応教室「わくわく21」に適応教室専門員（教職経験者）を配置し、学校などと連携を図り、不登校の児童・生徒の生活や学習状況を詳細に把握するとともに、自立に向けた支援を行った。

#### ア 命と心の授業（外部講師の講演など）

小学校 16校 中学校 4校

#### イ 適応教室専門員の配置

適応教室専門員 4人

(9) **オリンピック・パラリンピック教育の推進** [決算額 4,333千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、次代を担う子どもたちが、オリンピック・パラリンピックに関する学習やスポーツを通して知・徳・体をバランスよく身に付けるとともに、共生社会や平和な社会の実現に貢献できる人間に成長できるよう、各学校・幼稚園が主体性と創意工夫を発揮しながら、オリンピック・パラリンピック教育を推進した。

東京都教育委員会による「オリンピック・パラリンピック教育推進校」のほか、本区独自に「オリンピック・パラリンピック教育実践校」を指定し、オリンピック・パラリンピックに関する学習や中央区版「一校一国運動」、オリンピック・パラリンピアンを講師としたスポーツ学習、講演会を実施した。

オリンピック・パラリンピック教育推進校 10校・園

泰明小学校、中央小学校、有馬小学校、久松小学校、阪本小学校、

月島第一小学校、月島第三小学校、日本橋中学校、泰明幼稚園、有馬幼稚園

オリンピック・パラリンピック教育実践校 3校・園

常盤小学校、晴海中学校、京橋朝海幼稚園

(10) **教育相談等** [決算額 57,313千円]

教育全般に対する相談業務を担う専任教育相談員（教職経験者、臨床心理士など）が、教育センターでの来所相談や電話相談を行うとともに、小学校および幼稚園を訪問した。

さらに、いじめ、不登校、暴力行為など、生活指導上の課題に対応するため、関係機関との連絡・調整を図るとともに、専門的な知識や技術を用いて、問題を抱える生徒や家庭を支援するスクールソーシャルワーカーを、全中学校に派遣した。

専任教育相談員 15人

相談案件数 257件

スクールソーシャルワーカー派遣回数 中学校4校 延203回

(11) **小学校・幼稚園の改築・増築** [決算額 7,024,184千円]

児童数の増加への対応とともに施設機能の更新を行い、新しい時代に即した教育環境の設備や良好な学習空間の確保を図るため、小学校・幼稚園の改築・増築を行った。

ア 豊海小学校・豊海幼稚園の改築（防潮堤整備を含む）

整備経過等 平成25年度 基本設計・実施設計

平成26年度～27年度 建設工事

イ	久松小学校・久松幼稚園の増築		
	整備経過等	平成25年度	基本設計・実施設計
		平成26年度～27年度	建設工事
ウ	月島第二小学校・月島第二幼稚園の改築		
	整備経過等	平成25年度	基本設計・実施設計
		平成26年度	建設工事
		平成27年度	新校・園舎開設、外構工事
エ	日本橋小学校・日本橋幼稚園の改築		
	整備経過等	基本設計・実施設計	
オ	有馬小学校・有馬幼稚園の改築		
	整備経過等	平成26年度	基本設計・実施設計
		平成27年度	建設工事
カ	月島第三小学校・晴海幼稚園の改築		
	整備経過等	平成26年度	基本設計・実施設計
		平成27年度	建設工事

(12) **スクールバスの運行** [決算額 38,048千円]

特認校制度の実施に伴い、就学人口の多い月島地域から比較的離れている小規模校である城東小学校、常盤小学校および阪本小学校への交通手段として、スクールバスを登下校時に運行した。

運行便数	登校時1便 下校時2便
乗降場所	月島地域で指定する4カ所および各校の正門付近
利用者数	151人

(13) **学校評価システムの推進** [決算額 2,116千円]

学校運営の改善と発展を図るため、全学校・幼稚園において、教職員による「自己評価」と自己評価の結果を踏まえた「学校関係者による評価（外部評価）」を実施し、評価結果を公表した。また、外部評価に4年に1度の周期で学校運営に専門的な識見のある第三者を加えた評価を実施した。

第三者を加えた外部評価実施校・園  
 京橋築地小学校・京橋朝海幼稚園、明正小学校・幼稚園、常盤小学校、  
 日本橋小学校・幼稚園、佃中学校



(14) 小学校通学路防犯カメラの設置 [決算額 8,639千円]

学校と地域などが連携して行う登下校の見守り活動を補完し、安全対策の強化を図るため、小学校通学路に防犯カメラを設置した。

設置校数 4校（日本橋小学校、有馬小学校、久松小学校および月島第一小学校）  
設置台数 1校あたり5台

(15) 校庭（遊び場）開放の実施 [決算額 4,591千円]

幼児・児童の遊び場の確保を図るため、学校教育に支障のない範囲で小学校の校庭を安全な遊び場として開放した。

平成27年度は既実施校の11校に加え、新たに明石小学校および豊海小学校において実施した。

開設校 城東小学校、泰明小学校、中央小学校、明石小学校、明正小学校、  
日本橋小学校、久松小学校、阪本小学校、佃島小学校、  
月島第一小学校、月島第二小学校、月島第三小学校、豊海小学校  
実施日 学校休業日（学校毎に異なる。）  
利用人数 延6,993人

(16) 学校におけるいじめ問題に対する体制の整備 [決算額 199千円]

「いじめ防止対策推進法」の施行に伴い、教育委員会の附属機関として「中央区いじめ問題対策委員会」を新たに設置した。また、区長の附属機関として「中央区いじめ問題再調査委員会」を設置した。

中央区いじめ問題対策委員会

委員構成 6人以内 任期 2年

（学識経験者、法律、心理、医療、福祉等に関する専門的知識を有する者など）

所掌事務

- ・いじめの防止等に関する教育委員会からの諮問に対する調査審議および答申
- ・いじめの防止等に関する意見具申
- ・重大事態に係る事実関係の明確化のための調査

中央区いじめ問題再調査委員会

委員構成 6人以内 任期 2年

（学識経験者、法律、心理、医療、福祉等に関する専門的知識を有する者など）

所掌事務

- ・教育委員会や学校が行ったいじめによる重大事態に係る調査の結果について、区長が必要と判断したときに再調査を行い、その結果を区長に報告する。

\* 生涯学習・スポーツ

(1) 外国語によるおもてなしの取組強化（中央区民カレッジ） [決算額 ー 千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、今後も本区を訪れる外国人観光客の増加が見込まれることから、区民等を対象とする語学講座の充実を図った。

また、まち案内ボランティアなどで活動している生涯学習サポーターが、本区の魅力を外国人観光客に紹介できるよう、語学力を養う取組を実施した。

ア 区民対象の語学講座

講座内容	中国語で案内する中央区 中学生レベルの英語で紹介する中央区
実施回数	各講座10回
実施場所	早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校

イ ボランティアに対する外国語研修

講座内容	中央区まち案内 in ENGLISH
実施回数	10回
実施場所	築地社会教育会館

(2) スポーツ推進計画の策定 [決算額 6,458千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催の機会を捉え、区民のスポーツへの気運の高まりや国・東京都におけるスポーツ振興に関する方針も踏まえながら、中長期的な視点から今後のスポーツ施策の方向性を示すスポーツ推進計画を平成28年度に策定する。平成27年度は、主に区民アンケート調査などによる現状把握と課題等の整理を行った。

(3) 子どもの得意スポーツ発見事業 [決算額 1,650千円]

スポーツ実施層の裾野を広げていくため、運動に関する基礎を培う時期の児童を対象に、身体や体力づくり等のさまざまな体験を通して自らの可能性を発見することで、得意・不得意にかかわらずスポーツに親しむきっかけづくりとなる教室を実施した。

参加者数

教室（全29回）	40人
講演会等（全4回）	延196人

(4) 晴海運動場の代替施設の確保

[決算額 12,947千円]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会選手村の整備に伴い、平成26年度をもって廃止した晴海運動場の代替施設として、野球場を確保した。

代替施設 江戸川河川敷野球場 2面 (埼玉県三郷市)

利用日 土曜日・日曜日・休日

利用時間 5月～9月 午前6時～午後6時

10月～11月 午前6時30分～午後4時30分

## ○ 文化の香る交流のまちづくり

### \* コミュニティ

#### (1) 大江戸まつり盆おどり大会 [決算額 42,121千円]

区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、江戸のまちにゆかりの深い盆踊りを中心とした「中央区大江戸まつり盆おどり大会」を実施した。

実施日	平成27年8月21日・22日
実施場所	浜町公園
実施内容	盆おどり大会、大江戸縁日コーナー、友好・交流都市コーナーなど
参加者数	延76,000人

#### (2) 協働提案事業 [決算額 4,628千円]

社会貢献活動団体（NPO法人・ボランティア団体など）と区が力を合わせて公共的な課題解決に取り組み、よりきめ細かな行政サービスを提供するため、平成26年度に協働提案事業を公募し、審査のうえ採択された3事業について平成27年度に実施した。

##### ア 「地域のつながりづくりコミュニティ」担い手養成 スタートアッププログラム

地域における顔の見えるつながりや生きがいとしての地域活動を創出するため、町会・自治会等の地縁組織においての「担い手」を養成するための講座等を開催した。

実施団体	特定非営利活動法人CRファクトリー
実施内容	地域活動への意欲喚起を目的とした映画鑑賞会、講座
受講者数	映画鑑賞会（全3回） 128人
	講座（全6回） 28人

##### イ 生活困窮家庭の子どもの学習支援事業

生活困窮家庭の子どもに対して、学力向上のみでなく、学習習慣の定着や自分一人でも学ぶことのできる力を身に付けさせるため、大学生ボランティア等による無料の学習会を実施した。

実施団体	特定非営利活動法人キッズドア
実施内容	無料学習会、特別講習（夏季・冬季）
登録者数	25人

##### ウ 子育て支援運動教室～親子で遊ぼう～

未就学児とその保護者の運動機会を増やし、日常的な運動習慣の形成を図るため、アスリートを活用した親子参加型のイベントや各種スポーツ教室を開催した。

実施団体	中央区地域スポーツクラブ大江戸月島
実施内容	アスリートを活用したイベント、親子向けスポーツ教室の開催
参加者数	アスリートを活用したサッカー教室 71組
	親子向けスポーツ教室 58組

(3) 区民還暦祝い事業

[決算額 10,479千円]

還暦を迎える区民の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生をより充実させるための学びへの意識高揚や、これまで培った知識や経験・能力を地域社会で生かしたいという行動の契機とすることを目的に実施した。

ア 還暦祝い状・祝い品（映画ペア券）の贈呈

対 象 平成27年度中に60歳を迎えた区民

発送時期 平成27年9月

イ 還暦のつどいの実施

実 施 日 平成27年11月23日

対 象 参加を希望する還暦対象者

会 場 銀座ブロッサム（中央会館）ホール

内 容 シニア世代の活動紹介、コンサート

入場者数 552人（同伴者等を含む。）

\* 文化振興

(1) 中央区まるごとミュージアム

[決算額 33,509千円]

本区全体が、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺などさまざまな魅力に満ちあふれるミュージアムであることから、区民等が区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者等が行う文化イベントに参加し、本区の文化的な魅力を楽しみ享受できる一日となるよう、区と中央区文化・国際交流振興協会の共催で実施した。

開 催 日 平成27年11月1日

場 所 中央区全域

参加者数 延69,000人

（江戸バス・借上バスの乗車人数 5,914人、船の乗船人数 4,622人）

(2) まちかど展示館 [決算額 11,287千円]

地域文化の継承と区民の文化意識の向上を図るとともに、地域への誇りや愛着心を育むため、平成23年度から平成26年度にかけて、区民等が地域にある文化資源を発掘し、一般に展示・公開する施設を「中央区まちかど展示館」として認定した。

平成27年度からは、22施設ある「まちかど展示館」を観光・文化資源としてより一層活用していくため、専用ホームページによる情報発信の強化を図った。また、前年度に引き続き施設管理運営費等を助成し、展示館運営に対する支援を行った。

認定施設数 22施設

助成件数 18件 (施設管理運営費 16件、改装整備費補助 2件)

(3) 近代建築物調査結果の活用 [決算額 1,966千円]

平成23年度から3カ年にわたり行った近代建築物調査に基づき、地域の歴史を彷彿させる建築様式や意匠などの特色を残す建築物を選定し、近代建築物100選としてホームページで公開するとともに、選定された建築物に関する理解を深めてもらうため、講演会等を実施した。

講演会 「中央区近代建築物100選を知り・巡るまち歩き～日本橋川沿い、銀座のまちの歴史をたどる～」

まち歩き 日本橋川コース、銀座界限コース (2日間実施 参加者数 延57人)

\* 平和

(1) 平和の都市(まち)の楽しい集い [決算額 9,373千円]

本区は、昭和63年3月15日に平和都市であることを宣言した。

この宣言の趣旨を普及させるとともに、平和の大切さを区民に訴えるため「平和の都市(まち)の楽しい集い」を開催した。

開催日 平成28年3月15日

場所 銀座ブロッサム(中央会館)ホール

内容 ポピュラーコンサート

「歌のチカラ～心をひとつにみんなで歌おう!～」

出演者 麻倉 未稀、庄野 真代

前売入場券発売数 880枚

当日入場者数 858人

(2) 平和展

[決算額 2,439千円]

本区の空襲被害、戦中・戦後の市民生活や子どもの様子など、当時を物語る写真や戦災資料を公開展示することにより、区民に平和の大切さや尊さを訴え、平和を見つめ直すきっかけづくりとして、平和展を開催した。

また、次代を担う児童・生徒に戦争の悲惨さ、平和の大切さを考えてもらうきっかけづくりとするため、区立小・中学校巡回平和展を実施した。

ア 平和展

期 間	平成28年2月24日～3月10日の開庁日
場 所	区役所1階 ロビー 日本橋区民センター1階 エントランスホール 月島区民センター1階 コミュニティサロン
展示内容	写真パネル・物品資料の展示、戦災体験者証言・平和アニメDVD上映
来場者数	約22,000人

イ 区立小・中学校巡回平和展

対 象 校	小学校16校 中学校4校
期 間	平成27年10月1日～平成28年1月27日 1校当たり2週間の展示
内 容	写真パネルの展示、平和絵本・平和クイズの展示・閲覧、 戦災体験者証言・平和アニメDVDの貸出

## 4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進

### ○ 新たな課題への対応

#### (1) 新たな基本構想の策定 [決算額 6,194千円]

急激な人口増加や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会など、本区を取り巻く環境が大きく変容している中、今後の行政運営の指針となる新たな基本構想を策定することとし、附属機関として学識経験者、区議会議員、区民、区内公共的団体の代表者等で組織する中央区基本構想審議会を設置した。平成27年度は、平成28年2月9日に中央区基本構想審議会（第1回）を開催し、委員の委嘱、策定体制を決定するとともに、「中央区基本構想」および「中央区基本計画に盛り込むべき施策のあり方」について諮問した。

#### (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区民参加の推進

[決算額 399千円]

##### ア 中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会の設立

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「大会」という。）に向けて、区民、関係団体・機関および区が一体となって地域の発展に取り組んでいくため、関係者間の情報共有および連絡調整を強化するとともに、地域の自主的な取組の促進等を行う会議体として、中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会を設立した。

設立年月日 平成27年12月17日

構 成 員 38人

検 討 部 会 観光・文化検討部会(平成28年3月28日設置)

##### イ オリンピック・パラリンピックに関する講演会の開催

大会の開催に向け、ボランティア活動の推進など、区民の気運醸成を図るきっかけづくりの場として、オリンピック・パラリンピックに関する講演会を開催した。

実施日・内容

・第1回 平成27年7月24日 参加者数 78人

第1部 「1998年長野冬季五輪での市民参加の状況」

第2部 「世界のアスリートを迎える中央区民のための健康メソッドとスポーツ環境」

・第2回 平成28年2月1日 参加者数 58人

「パラリンピックの見どころとパラリンピアンが体験した選手村」



(3) **社会保障・税番号制度の導入・運用** [決算額 91,513千円]

平成27年10月から社会保障・税番号制度が開始され、区民にマイナンバー（個人番号）の通知を行った。

本区では、制度の円滑な導入を図るために相談窓口およびコールセンターを設置した。また、臨時交付窓口を開設しマイナンバーカードの交付を行った。

マイナンバーカード交付枚数（平成28年1月～3月） 5,375枚

(4) **生活困窮者自立相談支援事業** [決算額 12,342千円]

平成27年4月1日施行の生活困窮者自立支援法に基づいて、生活困窮者からの相談に早期かつ包括的に応じるとともに、抱えている課題を踏まえた「自立支援プラン」を作成した。同プランを着実に実施するため、関係機関と連携し、早期自立に向けた支援に取り組んだ。

自立相談支援件数 延279件

自立支援プラン作成件数 27件

## ○ 区施設の改修

- (1) 本庁舎 [決算額 41,931千円]  
設備の老朽化に伴い、京橋図書館の空気調和機を取替工事を行った。  
工事期間 平成27年8月～11月
- (2) 京橋区民館・フレンドハウス京橋 [決算額 14,558千円]  
施設の老朽化に伴い、外壁および防水改修工事を行った。  
工事期間 平成27年11月～平成28年3月
- (3) 新場橋区民館・新場橋職員住宅 [決算額 16,465千円]  
施設の老朽化に伴い、外壁および防水改修工事を行った。  
工事期間 平成27年11月～平成28年3月
- (4) セレモニーホール [決算額 27,378千円]  
施設の老朽化に伴い、照明、放送および機械設備改修工事を行った。  
工事期間 平成27年10月～平成28年3月
- (5) 日本橋社会教育会館・日本橋図書館 [決算額 738,729千円]  
日本橋小学校の増床に伴うフロア移転工事および内部改修工事を行い、併せて施設老朽化による大規模改修工事を行った。  
工事期間 平成27年7月～平成30年3月
- (6) 総合スポーツセンター [決算額 88,675千円]  
施設の老朽化等に伴い、外壁・屋上防水改修の設計および工事を行った。  
工事期間 平成27年11月～平成29年1月
- (7) 障害者就労促進施設「さわやかワーク中央」 [決算額 18,818千円]  
施設の老朽化に伴い、外壁改修および屋上防水工事を行った。  
工事期間 平成27年6月～平成28年1月
- (8) 特別養護老人ホーム等「マイホーム新川」 [決算額 13,716千円]  
施設の老朽化に伴い、平成29年度から大規模改修工事を実施するため、基本設計を行った。

平成27年度

主要な施策の成果説明書

刊行物登録番号  
28-048

編集・発行

中央区企画部企画財政課

中央区築地一丁目1番1号

電話 03(3546)5212

印 刷

タナカ印刷株式会社浜町営業所

中央区日本橋浜町三丁目39番11号302

電話 03(5623)3981